



今年もお世話になります ～ 5年生が田植えを行いました! ～

先々週に行うはずだった5年生の田植え。しかし、ご承知のとおり、その週の暑さが尋常ではなかったため、毎年お世話をしてくださっている西岡さんのご配慮により、4日（月）の朝に変更していただきました。また、この日は、「学校応援団」である、地域学校協働活動推進員の内田さんも、お忙しい中駆けつけてくださいました。地域の方々の子供たちに対する深い愛情を感じ、心からありがたく思います。さて、子供たちは、土に足をとられながらも、大喜びで体験させていただいた様子。直接土に触れたり、田んぼの生き物のいのちを感じたりしながらの学習では、教室では感じるができないことがたくさん。こんな貴重な体験を毎年させていただいている西岡さん、本当にありがとうございます。この後の稲の管理にかかわるたくさんの作業もお世話になります。



幼・保・小連携の取組 ～ 1年生の様子をお世話になった先生方に見ていただきました!

8日（金）の5時間目、入学前にお世話になった保育園や幼稚園の先生に、国語の授業の様子を見ていただきました。子供たちは、もちろん授業前から張り切っていました! また、懐かしい先生の姿を見つけては大喜び。その後の情報交換会では、「集中して授業に取り組んでいた」「みんなが意見を言っていた」「伸び伸び過ごしている様子を見て安心した」「敬語を使うようになってびっくりした!」などの感想をいただきました。今後も、保育園、幼稚園の先生方と連携しながら子供たちの育ちを見守っていききたいと思います。

左は授業を受ける子供たちの様子。後方の先生方が気になります・・・。右は、図工で作った年度の作品です。これも見ていただきました! 説明している子供の姿も・・・。



「水俣に学ぶ肥後っ子教室」の訪問学習～5年生が水俣へ!

毎年、熊本県のすべての小学5年生を対象に実施されている「水俣に学ぶ肥後っ子教室」。その目的は、次のとおりです。

○ 「環境立県くまもと」づくりの担い手である熊本の子供たちに、水俣病への正しい理解を図り、差別や偏見を許さない心情や態度を育むとともに、環境や環境問題への関心を高め、環境保全や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする態度や能力を育成すること。

学習の流れは、下図のとおりですが、昨年度はコロナの影響で訪問学習ができませんでした。今年、無事訪問が叶い、事前学習では保護者の協力も得ながら、水俣病の歴史、人権問題、環境問題の視点からしっかり学習を重ねてきました。二度と繰り返されてはならないこととしてしっかり事前に学んだ上で、子供たちは当日の朝から引き締まった表情で現地に向かいました。同行していただいた教頭先生によると、聴く態度もすばらしく、たくさんのメモを取っていたとのこと。5年生のよさがおおいに感じられる一日だったとのこと。さすがですね! 今後、事後学習が続きますので、その成果を再度お届けしたいと思います。ご家庭でもぜひ、話題にさせていただきますね!

